

以前の教育についての認識 Position Statement on Recognition of Former Educational Status 2014
--

この文書の目的についての概説

WFOT の作業療法士教育の最低基準と教育課程認証プロセスが更新された(2014)。委員会により合意されたこの更新プロセスでは、学士号あるいは同等のレベルを最低基準に変えた。

なぜこれが適切で望ましいかについて、会員国による広い理解がなされた一方で、ディプロマを持つ人への継続的サポートを提供するための強固な決意もなされた。会員国の大多数は、学士号としているか準備中である。しかし、社会状況においてディプロマから移行することが将来期待できない国もある。

とりうるポジションについての声明

世界作業療法士連盟(WFOT)は、実践について信用でき準備ができているという目的において「同等の課程を卒業したもの」という記載を付けることで、ディプロマレベルを卒業した人として、WFOT の認証を受けた作業療法教育課程の卒業者をサポートする。適切な作業療法教育課程を卒業していない場合は、作業療法士と名乗ることを許可しない。

作業療法にとってのポジションあるいは問題の重要性についての声明

学士号を認める多くの国々で、過去 10 年間に大勢の人が移動した。加えて、いくつかの会員国は、現在専門職として実践するために必要な資格を修士号としている。受入れ可能で期待される資格レベルは変化が続いているので、作業療法分野ですでに実践している人の本来の価値と熟練技能を認識する必要性が不可欠である。ある国では、ディプロマレベルで卒業した人が大半だということがある。

適切とされる社会にとってのポジションの重要性の声明

以前に卒業した作業療法士は、その専門職に留まり、作業療法の知識と技能の成長と財産となっている。それはその状況において早期から専門職が受け入れられてきて以来続いている。こうしたセラピストが現在知っていることに敬意を表し価値をおくことは必要である。その人たちは彼らができること、全体として社会に対して行ってきたことを知っているからである。社会的影響には、尊重される必要のある健康専門職市場のこの要因への経済投資が含まれる。これには最初の教育課程の創設メンバーの作業療法士も含まれている。この教育課程は現在ではより高い学位が与えられている

ポジションの実質的論拠

作業療法士教育の WFOT 最低基準が最近改定され、このポジションが全会員組織により、明確に説明され十分に理解される必要がある。このポジションが示すのは、連盟として一つの目的をもち、達成し協働していくということを認識する意志であり、価値である。

チャレンジ

- WFOT は会員国の中には作業療法教育課程を改定する準備ができていない国があることを認める。
- アクセス可能となるための必要事項について更なる研究が必要である。
- 作業療法実践の格差
- 協会はストラテジーを実行するよう奨励されるべきである。

ストラテジー

- 自らの教育レベルを更新したい人のためのアクセスの実現を探る。
- 登録に関する問題に直面している国には移行期間を設けるべきである。
- より高いレベルの作業療法教育者に資格を与えたり、研究機会を促進する(作業療法教育者の学術的資格に関する声明書 2008 を参照)